

9月24日～30日 結核予防週間

毎年9月24日から9月30日は「結核予防週間」です。

日本の結核の現状は、年間約2万人の患者が発生しており、国内においては減少傾向が続いているものの、世界的に見て、依然として結核の多い国とされています。

さらに、既感染者の高齢化に伴う再発事例の増加、抗結核薬の効かない多剤耐性結核菌が出現等新たな問題が発生しています。正しい知識を身に付け、自分たちの身体を守りましょう。

【結核とは？】

結核は、体内に取り込まれた“結核菌”に感染する病気です。この結核菌は、体内で何十年も潜伏することができます。そして、感染した人のせきやくしゃみと一緒に飛び散り、それを周りの人が吸い込むことで感染が拡大していきます。感染したからといって、すぐに発病することはほとんどなく、せきや熱もない状態が続きます。

【結核の主症状】

せき・たん・血たん・胸痛・発熱

※風邪の症状によく似ています。

風邪薬では治らないので、専門治療が必要です。

【結核を予防するには・・・】

- ① せきが2週間以上続く場合は、早めに受診を。
- ② 定期的に健康診断を受けましょう。
- ③ 栄養バランスの取れた食生活をこころがけましょう。
- ④ 禁煙が必要。
- ⑤ 疲労を避け、ストレスを溜めないように。
- ⑥ 高齢者など、免疫力の落ちている人は特に注意しましょう。
- ⑦ 帰宅後は、うがい・手洗いを忘れずに！
- ⑧ お子さまは必ずBCG予防接種を受けましょう。



BCG予防接種は、お子さまを結核から守るために大切なことです。
必ず、接種してください！

献血 ご協力の お願い

以下の日程でバス献血を行います。バス献血では、400ml献血をご協力いただいています。

日時	9月26日（月）9時30分～11時
場所	保健福祉センター
対象者	体重が50kg以上、年齢が18～69歳の方 ※65歳以上の方は60～64歳の間に献血経験がある方

